

国語科年間指導計画【3年古典探究(特進コース)】

■単位数

2

■使用教科書(出版社)

古典探究 古文編・漢文編(筑摩書房)

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的・的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。  
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕  
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。  
 イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。  
 ウ 古典の文の成分の順序や関係、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。  
 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。  
 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。  
 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりについて理解を深めること。  
 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。  
 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 読むこと  
 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。  
 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。  
 エ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。  
 オ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。  
 カ 古典の作品や文章について、内容を解釈し自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。  
 キ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。  
 ク 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。  
 ケ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能								思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数
		(1)				(2)				読むこと											
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク				
4	本文の展開を的確に捉える	●								●								当時の生活をまとめる	鶯にさらわれた赤子	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	3
	社会や自然にたいする自分の考えを広げる		●													●	作者が感じたことを整理する	枕草子(上にさぶらふ御猫は)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4	
5	古典作品を基に自分のものの見方、感じ方を広げる				●											●	故事成語について調べて発表する	断腸	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4	
	表現の特色について評価する												●				表現の特徴についてまとめる	古体詩(桃天、飲酒、送別など)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
6	表現に注意して内容を的確に捉える												●				内容をまとめ、発表する	源氏物語(車争ひ)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
	本文の展開を的確に捉える		●										●				展開についてグループで話し合う	源氏物語(病院の怪)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
7	様々なテーマに対して自分の考えを広げる			●												●	自分の意見についてグループで検討する	史記(樊噲上衝冠)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
	表現の特色について評価する	●												●			表現の効果について評価する	大鏡(中宮安子の嫉妬)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
9	解釈をもとに作品の価値について考察する								●					●			価値についてグループで考える	離魂記	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
10	自分の知見と結び付け、考えを深める								●					●			内容を解釈して発表する	和泉式部日記	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4	
	古典作品を基に、自分の考えを広げる			●												●	現代と平安と比較をする	紫式部日記	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
11	書き手の意図を捉えて内容を解釈する								●					●			作者が伝えたいことを考える	老子、莊子、韓非子など	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
	多面的な視点から評価する				●											●	人物の視点に合わせて作品を評価する	俊頼輔政	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
12	書き手の意図を捉えて内容を解釈する		●											●			書き手の状況を踏まえ、内容をまとめる	野ざらし紀行	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
	表現に注意して内容を的確に捉える												●				表現の工夫を話し合う	建礼門院右京大夫集(なべて世の)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
1	自分の知見と結び付け、考えを深める								●					●			自分の経験との関係性をまとめる	白居易(与微之書)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5	
2																					
3																					
単位数		2	1	3	1	2	1	2	2	2	2	4	1	2	2	1				配当予定時数合計	75



教科	科目	単位数	学年	集団
公民	政治・経済	3	3年	特進コース

使用教科書	副教材等
最新政治・経済(実教出版)	テーマ別資料 政治・経済2026(東京法令出版) 最新政治・経済 演習ノート(実教出版)

<p><b>科目の目標</b></p> <p>1. 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。</p> <p>2. 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことゝの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。</p> <p>3. よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。</p>
--

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
①知識・技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
②思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。
<b>評価方法</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>小テスト</li> <li>振り返りの記述内容</li> <li>課題、レポートなどの記述内容</li> <li>グループワーク、プレゼンテーションなどの活動に対する取り組み</li> </ul>	

<b>学習計画</b>						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	現代日本の政治	民主政治、法、世界の政治制度、日本国憲法(成立過程、基本原理、自由権、平等権、社会権、参政権、請求権、新しい人権)、人権の国際化	日本国憲法の基本原理と人権について、民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。	○		
			基本的人権や法の支配の重要性について、歴史的背景にも言及しながら考察し、それらを適切に表現している。		○	
6	現代日本の政治	平和主義、日米安保、国会、内閣、裁判所、地方自治、政党政治、選挙制度、世論と政治参加	公共の福祉について主体的に追究することを通して、個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。			○
			日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景、日本の統治機構と国政・地方自治、選挙制度について理解している。	○		
7 9	現代の日本経済	経済思想、市場機構、企業、国民所得と経済成長、金融、財政、戦後日本経済史	教科書の記述の内容理解を踏まえたうえで、平和主義や統治機構、地方自治、選挙について多面的に考察し、適切に表現している。		○	
			日本の政治制度を理解したうえで、身近な地域の興味関心を持ち、人口動向が地域に与える影響や一極集中にともなう課題の解決策などを積極的に追究している。			○
7 9	現代の日本経済	経済思想、市場機構、企業、国民所得と経済成長、金融、財政、戦後日本経済史	生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。	○		
			資本主義経済の成立以降、社会がいかに変容し、それに伴い経済制度がどのように展開していったか、企業・政府の役割の変化と関連させて考察している。		○	
9			経済成長による経済的な豊かさと幸福について、数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。			○

10	現代の日本経済	中小企業、農業、消費者問題、公害・環境問題、労働問題、社会保障	典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるかなど、経済社会の一員として必要な知識を有している。	○		
			人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。		○	
			よりよい社会の実現のために、他者との協働もはかりながら、経済学の視点から多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。			○
11	現代の国際政治	国際社会と国際法、国際連合、人種・民族問題、軍拡・軍縮、日本の外交と国際関係	領土問題など、国際問題がなぜ生じるのか、また、どのように解決することが望まれているのかを理解している。	○		
			国連改革・安保理改革の必要性など国際社会が抱える政治的問題について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。		○	
			国際貢献について主体的に追究し、政府レベルや企業レベル、市民レベルの観点から、課題を意欲的に解決しようとしている。			○
12	現代の国際経済	貿易と国際収支、外国為替市場、戦後国際経済史、地域経済統合・グローバル化、新興国・途上国、地球環境問題、資源・エネルギー、経済協力と日本の役割	円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。	○		
			グローバル化と地域的経済統合など、賛否の分かれる国際経済上の問題に対して、自由と公正の観点から協働的に考察し、適切に表現している。		○	
			世界の貧困状況やそれを解消するための取り組みについて興味関心をもち、「国際経済格差の是正を探究するための意欲を高め			○

教科	科目	単位数	学年	集団
数学	数学Ⅲ	3	3年	特進コース理系

使用教科書	副教材等
数研出版 高等学校 数学Ⅲ	4プロセス数学Ⅲ

<p><b>科目の目標</b></p> <p>(1)極限、微分法、積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に着ける。</p> <p>(2)式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察する力、導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察する力、関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する力を養う。</p> <p>(3)数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	極限、微分法、積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に着ける。
② 思考・判断・表現	式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察する力、導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察する力、関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

<b>評価方法</b>
知識・技能の評価:テスト、小テスト、レポート課題の点数をもとに評価する。 思考・判断・表現の評価:テスト、小テストの点数、レポート課題の点数をもとに評価する。 主体的に学習に取り組む態度:知識・技能や思考・判断・表現の評価をふまえながら、テストの点数、授業内でのレポートへの取り組み方、授業後の振り返り等もとに評価する。

<b>学習計画</b>						
期間	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	・関数	・関数	いろいろな関数の一般形を理解することができる。	○		○
5	・極限	・数列の極限 ・関数の極限	簡単な数列・関数の極限を求めることができる。	○		○
6			式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。		○	○
7	・微分法	・導関数	微分可能性、積及び商の導関数について理解し、導関数を求めることができる。	○		○
9	・微分法	・いろいろな導関数 ・不定積分 ・定積分	三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、求めることができる。	○		○
10	・積分法		関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察できる。		○	○
11			不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。	○		○
			置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求める	○		○
12	・積分法	・積分法の応用	定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる。		○	○
1			極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。		○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
数学	数学C	2	3年	特進コース

使用教科書	副教材等
数研出版 高等学校 数学C	4プロセス 数学C

<p>科目の目標</p> <p>(1)ベクトル、複素数平面、式と曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に着ける。</p> <p>(2)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察できる力、複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察ができる力、放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する力を養う。</p> <p>(3)数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
---

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に着ける。
② 思考・判断・表現	ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察できる力、複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察ができる力、放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する力を身につける。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
評価方法	
<p>知識・技能の評価: テスト、小テスト、レポート課題の点数をもとに評価する。</p> <p>思考・判断・表現の評価: テスト、小テストの点数、レポート課題の点数をもとに評価する。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度: 知識・技能や思考・判断・表現の評価をふまえながら、テストの点数、授業内でのレポートへの取り組み方をもとに評価する。</p>	

学習計画				評価の観点		
期間	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③
4	・平面上のベクトル	・ベクトルとその演算	ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解できる。	○		○
5		・ベクトルと平面図形	実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察できる。		○	○
6	・空間のベクトル	・空間のベクトル	座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解できる。	○		○
7			ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察できる。		○	○
9	・複素数平面	・複素数平面	複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解できる。	○		○
10			複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察できる。		○	○
11	・式と曲線	・2次曲線	放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解できる。	○		○
12		・媒介変数表示と極座標	放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察できる。		○	○
1	・総合演習			○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語(英語)	英語コミュニケーションⅢ	4	3年	特進コース

使用教科書	副教材等
ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ WORKBOOK システム英単語 5訂版

科目の目標
<p>(1)聞くこと 日常的话题について、話される語句や文、情報量において多くの支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2)話すこと[やりとり] 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>話すこと[発表] 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)読むこと 日常的话题について、使用する語句や文、情報量において多くの支援を活用すれば必要な情報を読み取り書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(4)書くこと 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。</li> <li>・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する。</li> <li>・これらを活用して、適切に表現したり伝え合ったりする。</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
評価方法	
<p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p>	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ウェブ記事	Unit 1	記事を読んだり、インタビューを聞いたりして概要を把握することができる。	○	○	
	インタビュー	Speaking Strategies 1	ある写真について、適切な表現を用いて正確に伝え合うことができる。		○	○
6	ウェブ記事	Unit 2	記事を読んだり、インタビューを聞いたりして概要を把握することができる。	○	○	
	インタビュー		教育におけるAIの利点について、複数の段落で論理的に書くことができる。		○	
9	物語	Unit 3	物語を読み、流れと教訓を読み取ることができる。	○	○	
	ストーリーテリング		自分が読んだ民話について、起承転結を意識してわかりやすく伝えることができる。		○	○
11	ニュース記事	Unit 4	タイムカプセルについてのニュース記事やディスカッションの概要を把握することができる。	○	○	
	スピーキング	Speaking Strategies 3	自分の意見を、具体的な根拠を含めて伝え合うことができる。		○	○
1	ブログ記事	Unit 5	学生生活についてのブログの記事を読み、一般論と個別の体験を読み取ることができる。	○	○	
	エッセイ		海外での生活について、2つの観点から論理的に詳しく書くことができる。		○	

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	論理・表現Ⅱ	2	3年	特進コース

使用教科書	副教材等
EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	Next Stage 英文法・語法問題

<p><b>科目の目標</b></p> <p>(1) 話すこと[やりとり] 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと[発表] 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
--

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する。</li> <li>・これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
<b>評価方法</b>	
<p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p>	

学習計画						
期間	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
一学期中間テスト	紹介文 レビュー スピーチ原稿 ニュースレポート	Part1 Lesson1 Part1 Lesson2 Part1 Lesson3 Part1 Lesson4	伝統的な日本の文化について、ペアで紹介し合うことができる。			○
			これまで行った旅行先について、適切な助動詞を用いて、50語程度でレビューを書くことができる。	○		○
			自分の昼食のバーチャル・ウォーターの量について、30秒程度の発表を行うことができる。		○	○
			最近のニュースについて、不定詞・動名詞を用いて、60語程度でレポートを書くことができる。	○	○	○
一学期期末テスト	ブログ 意見 意見(比較) スピーチ	Part1 Lesson5 Part1 Lesson6 Part1 Lesson7 Part1 Lesson8	自分の好きな有名人について、紹介するブログを作成することができる。		○	○
			エシカルファッションやオンラインショッピングについて、自分の意見を理由とともに述べるることができる。		○	○
			紙と電子書籍どちらが好きか、適切な比較表現を用いて、60語程度で意見を書くことができる。	○	○	
			私たちの生活を大きく変えた発明について、30秒程度の発表を行うことができる。		○	○
二学期中間テスト	メール テキストメッセージ ロールプレイ アドバイス	Part2 Lesson1 Part2 Lesson2 Part2 Lesson3 Part2 Lesson4	相手に断りと謝罪を伝えるメールを50語程度で作成することができる。		○	○
			スピーチを聞いた感想を伝えるテキストメッセージを60語程度で作成することができる。		○	○
			台湾フードフェスティバルに誘うロールプレイを、クラスで実演することができる。		○	○
			健康維持や睡眠不足に悩んでいる友だちに対して、アドバイスをすることができる。		○	○
二学期期末テスト	メール 発表 スピーチ	Part2 Lesson5 Part2 Lesson6 Part2 Lesson7	ボランティアの主催者宛てに、活動への参加許可を依頼するメールを60語程度で書くことができる。		○	
			都会と田舎のどちらに住みたいかについて、30秒程度の発表を行うことができる。		○	○
			生徒会候補者紹介のポスターを作成し、それを基にスピーチをすることができる。		○	○
学年末テスト	例示・列挙 比較・対照 原因・結果	パラグラフ構成① パラグラフ構成② パラグラフ構成③ パラグラフ構成④	例示・列挙されている情報をもとに、自分の意見をクラスに発信することができる。			○
			比較・対照されている情報をもとに、自分の意見を50語程度で書くことができる。		○	
			原因・結果をもとにパートナーとやり取りをすることができる。			○
			時間的順序・手順を考えて、パラグラフの形式で文章を書くことができる。		○	

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	3年	3学年

使用教科書	副教材等
	ステップアップ高校スポーツ(大修館書店)

<b>科目の目標</b> 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
---

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、 ・運動の多様性や体力の必要性について理解している。 ・運動が豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、 ・合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 ・解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、 ・公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高めようとしている。 ・健康・安全を確保したり、運動を主体的に取り組もうとしている。

<b>評価方法</b>
・運動の知識・技能の点検、確認、分析(スキルテスト、定期テスト、発表会、学習プリント・ノート等) ・記述の点検、確認、分析(学習プリント・ノート、グループワーク等) ・取組状況の観察、確認(グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 (集団行動、体ほぐし)	集合、整頓、列の増減、方向変換などの仕方を理解し、行動できる。	○		
			定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解できる。	○		
			いろいろな体ほぐしの運動を行うことを通して、気付いたり、仲間と関わりあったりしている。		○	
			集団行動や体ほぐし運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○
5	球技	ネット型	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。	○		
			役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。	○		
			選択した球技について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○	
			球技の学習に自主的に取り組もうとしている。			○
		ゴール型	球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	○		
			安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
			攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	

			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○
6	水泳	クロール、平泳ぎ	各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。	○		
			合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見付けることができる。		○	
			自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			○

7	体育理論	生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ	スポーツの文化的価値や、心身の健康保持増進・生活の質(QOL)の向上に果たす役割を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			ライフステージ(発育期、成人期、高齢期など)に応じた心身の変化と、適切なスポーツの関わり方を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			生涯にわたってスポーツを享受することの意義について、多角的な視点から自分の考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツの多様な価値を認め、日常生活の中で積極的に運動に親しもうとする意欲を持つことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
9 10	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画 (新体力テスト、体力を高める)	運動には体力向上の原則があることを理解し、運動のねらいやバランスを考え、自分にあった運動を計画し取り組むことができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			運動のねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
11	球技	ベースボール型	身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へ投げることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			バット操作、ボール操作及びボールを持たないときの動きなどの改善についてについてのポイントを発見している。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自己やチームの課題の解決に向けて、自己の考えを述べたり相手の話を聞いたりしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	ダンス	現代的なリズムのダンス (女子)	ダンスには、その踊りの特徴と表現の仕方があることを理解している。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			ダンスの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝え合い、合意形成を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			課題について、互いに助け合い教え合おうとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
12	体育理論	スポーツを推進する取り組み	行政や地域の役割、スポーツ環境の整備、共生社会の実現に向けた推進体制について正しく理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツ推進のための課題を把握し、誰もが平等にスポーツを享受できる環境のあり方について検討できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツを支える活動の重要性を認識し、より良いスポーツ環境の形成に協力・参画することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
1 2	球技	ゴール型	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
2	体育理論	豊かなスポーツライフの創造	科学的な知見に基づき、自分に適したスポーツプランの設計方法を習得できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			卒業後のライフスタイルを展望し、無理なく継続できる合理的な「マイ・スポーツプラン」を作成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			作成したプランに基づき、生涯にわたる豊かなスポーツライフを自ら創造しようとする態度を形成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

教科	科目	単位数	学年	集団
理科	物理	3	3年	特進コース理系 選択

使用教科書	副教材等
新編 物理(数研出版)	改訂版 リードLightノート物理(数研出版)

科目の目標
<p>物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解をしている。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。
② 思考・判断・表現	物理的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に主体的に関り、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

評価方法
<p>知識・技能: 定期テスト、小テスト、授業プリント、ノート等          思考・判断・表現: 授業プリント、グループワークの取組等          主体的に学習に取り組む態度: 授業振り返りシート、課題や提出物の取組状況等</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6	熱と気体	気体のエネルギーと状態変化	気体分子の運動と圧力との関係について理解する。	○	○	
			気体の内部エネルギーについて、気体分子の運動と関連付けて考える。	○		○
			気体の状態変化に関する実験などを通し、熱、仕事及び内部エネルギーの関係を表現できる。		○	○
6 7	波	波の伝わり方 音の伝わり方 光	波の伝わり方とその表し方について理解し、波の干渉と回折について考えることができる。	○	○	
			音の干渉と回折、音のドップラー効果について理解する。	○		
			光の伝わり方について理解し、実験などを通し、光の回折と干渉を光波の性質と関連付けて考えることができる。		○	○
9 10 11	電気と磁気	電場 電流 電流と磁場 電磁誘導と電磁波	電場やコンデンサーについて理解し、電気回路に関する実験などを通し、電流に関する基本的な法則について考えることができる。	○	○	
			電流、磁界、力の関係を理解し、実験などをとおし磁束の変化と誘導起電力の関係を見いだすことができる。		○	○
			電磁波の性質とその利用を理解する。	○		
12	原子	電子と光 原子と原子核	電子の電荷と質量について理解し、電子や光の粒子性と波動性について考えることができる。	○	○	
			原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位との関係を見いだすことができる。	○	○	
			原子核の構成、原子核の崩壊及び核反応、素粒子について知る。	○		○
1 2	物理学が築く未来		物理学の成果が様々な分野で利用されていることを理解する。	○		
			物理学と未来を築く新しい科学技術の関連について考えることができる。		○	
			身近なものや新しい技術と物理学の関連を見いだすことができる。			○

教科	科目	単位数	学年	集団
理科	生物	3	3年	特進コース理系 選択

使用教科書	副教材等
新編 生物(数研出版)	改訂版 リードLightノート生物(数研出版) 改訂版 フォトサイエンス生物(数研出版)

<p><b>科目の目標</b></p> <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
--

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象や生態系について理解することができる。</li> <li>実験に関して、必要な観察や基本的な技能を身につけることができる。</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象や生態系に関して課題を発見し、課題解決に向けた方法を思考、判断するとともに、それらを表現することができる。</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象や生態系に興味・関心をもつことができる。</li> <li>日常生活と学習事項の関連性に対し、疑問をもつことができる。</li> </ul>

<b>評価方法</b>
<p>知識・技能: 定期テスト、小テスト、授業プリント、ノート等</p> <p>思考・判断・表現: 定期テスト、授業プリント、グループワークの取組等</p> <p>主体的に学習に取り組む態度: 授業振り返りシート、授業内アンケート、課題や提出物の取組状況等</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
一学期中間テスト	遺伝情報の発現と発生	DNAの構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節	・遺伝情報の発現のしくみを理解する。	○		
			・遺伝子の発現調節に関する資料に基づいて、遺伝子の発現が調節されていることを見いだすことができる。		○	
			・遺伝子の発現調節に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。			○
一学期期末テスト	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術	・遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。	○		
			・遺伝子組換え技術によって、ある生物の遺伝子を別の生物に発現させることができる理由を考え、説明することができる。		○	
			・遺伝子を扱う技術に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。			○
二学期中間テスト	動物の反応と行動	刺激の受容 ニューロンとその興奮 情報の統合 刺激への反応 動物の行動	・ヒトの神経系の構造について理解する。	○		
			・反射が無意識のうちに起こる理由を、興奮の伝達経路と関連づけながら説明することができる。		○	
			・情報の統合に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。			○
二学期期末テスト	植物の環境応答	植物の生活と植物ホルモン 発芽の調節 成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節 環境の変化に対する応答	・植物の成長が光や重力などの要因によって調節されていることを理解する。	○		
			・植物が重力方向を感知できなくなった場合、自然界での成長においてどのような不都合があるかを考え、説明することができる。		○	
			・成長の調節に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。			○
三学期学年末テスト	生物群集と生態系	個体群の構造と性質 個体群内の個体間の関係 異なる種の個体群間の関係 生態系の物質生産と物質循環	・個体群の個体数の変化には、その個体群の年齢構成や年齢ごとの死亡率などが影響することを理解する。	○		
			・生存曲線のそれぞれの型が有利になる生息環境について、その生物がおかれている状況と年齢ごとの死亡率を関連させて推測できる。		○	
			・個体群の構造と性質に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。			○

教科	科目	単位数	学年	集団
理科	化学	5	3年	特進コース理系

使用教科書	副教材等
新編 化学(数研出版)	新課程 リードLightノート化学(数研出版)

<p>科目の目標</p> <p>化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究することができる。</p> <p>(3) 化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度をもつことができる。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の基本的な概念や原理・法則について理解することができる。</li> <li>実験に関して、必要な観察や基本的な技能を身につけることができる。</li> </ul>
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成やその変化に関して課題を発見し、課題解決に向けた方法を思考、判断するとともに、それらを表現することができる。</li> </ul>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の変化に関心をもつことができる。</li> <li>日常生活と学習事項の関連性に対し、疑問をもつことができる。</li> </ul>

評価方法
<p>知識・技能: 定期テスト、小テスト、授業プリント、ノート等</p> <p>思考・判断・表現: 定期テスト、授業プリント、グループワークの取組等</p> <p>主体的に学習に取り組む態度: 授業振り返りシート、課題や提出物の取組状況等</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6	物体の状態	固体の構造 物質の状態変化 気体 溶液	結晶格子の概念及び結晶の構造や気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。	○		
			物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解し、状態変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができる。	○	○	
			溶解の仕組みを理解し、実験などを通し、身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを見いだす。		○	○
6 7	物質の変化	化学反応とエネルギー 電池と電分解 化学反応の速さとしくみ 化学平衡	化学反応と熱や光に関する実験などを行い、化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを考える。		○	○
			電池の仕組みや電気分解を酸化還元反応と関連付けて、電気エネルギーとの関りを見いだす。	○	○	
			反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解しようとする。	○		○
9 10	無機物質	非金属元素 金属元素	典型元素に関する実験などを行い、典型元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解する。	○	○	
			遷移元素の単体と化合物の性質を理解する。	○		
			無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型元素、遷移元素の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。		○	○
11 12	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物	脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて考えることができる。	○	○	
			官能基をもつ脂肪族化合物に関する実験などを行い、その構造、性質及び反応について理解する。		○	○
			芳香族化合物の構造、性質を理解し、反応について考えることができる。	○		○
1 2	高分子化合物	高分子化合物の性質 単年高分子化合物 合成高分子化合物 化学が築く未来	合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解する。	○		
			天然高分子化合物の構造や性質について理解する。	○		
			化学が果たしてきた役割として、無機物質、有機化合物及び高分子化合物がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを見いだす。		○	○